

**授業概要**

講義はテキストを使用して経済学の歴史的背景、経済学者の人物像など、理論だけでなく、多面的に経済学の理論の歴史を理解する。経済学は資本主義経済の成立とともに、国によって、時代によって特徴のある様々な理論が形成されてきた。この講義では主要な経済学の学説(理論)が現代の経済学とどのような関係にあるのかを理解する。

**授業計画**

第 1 回	経済学の歴史を学ぶ意義(ガイダンス)
第 2 回	経済学誕生以前
第 3 回	前期重商主義の経済思想
第 4 回	後期重商主義の経済学
第 5 回	重農主義の経済学
第 6 回	市場社会論の系譜
第 7 回	古典派経済学の成立
第 8 回	古典派経済学の展開
第 9 回	歴史学派の経済学
第 10 回	カール・マルクスの経済思想
第 11 回	カール・マルクスの『資本論』
第 12 回	経済学の主流派と反主流派—経済学の方法
第 13 回	限界効用理論
第 14 回	アルフレッド・マーシャルの経済学
第 15 回	ケインズの経済学
第 16 回	期末試験

**到達目標**

主要な経済学者の学説の基本を理解すること。経済学の歴史を通史的に理解すること。

**履修上の注意**

理解度を確認するための小テストを適宜実施する。

**予習・復習**

テキストを読み理解すること。

**評価方法**

期末試験 50% 小テストとレポート 50%

**テキスト**

- ・教科書名：『経済学史への招待』
- ・著者名：柳沢哲哉
- ・出版社名：社会評論社 2017
- ・出版年 (ISBN)：978-4784518432